

事業概要

(平成4年度のまとめ)

京都府立図書館

目 次

1. 平成4年度の主な動き	1
2. 利用状況	3
(1) 個人貸出	3
(2) 個人貸出登録	3
(3) 1日平均個人貸出	3
(4) 地方分館団体貸出	4
(5) 「図書館資料広域貸出事業」による大量貸出	4
(6) 「貸出文庫事業」による大量貸出	4
(7) 図書館間相互貸借	5
(8) 読書相談	7
(9) 複写サービス	7
(10) 他の図書館等の資料複写サービスの利用	7
(11) 障害者の利用	7
(12) 連絡協力車の運行	7
(13) その他	7
3. 図書館資料	9
(1) 図書	9
○蔵書冊数	9
○分類別冊数	10
(2) 逐次刊行物	11
4. 図書館の行事	12
5. 沿革	13
6. 経費	18
7. 組織	19
8. 施設の概要	19
9. 利用案内	20

1. 平成4年度の主な動き

府立図書館は、府域における中核的図書館として来館利用者の生涯学習を援助するとともに、市町村立図書館等への補完的役割をもつ広域図書館として、府内市町村と協力しながら公共図書館事業を進めている。平成4年度の本館の開館日数は274日である。

(蔵書数)

本年度中の資料収集については、寄贈図書3,424冊を含め40,996冊を受け入れ、蔵書冊数は391,033冊となった。

<9 頁

参照>

(図書館協力貸出)

市町村図書館等からのリクエストによる貸出冊数は9,586冊となり、年々の増加が定着してきている。

<5 頁参照>

(図書館資料広域貸出事業)

図書館未設置自治体に住む府民にも図書館資料の利用を図るとともに府全域における図書館活動の振興をめざして平成元年度から実施している事業である。

本年度は、笠置町、夜久野町、加悦町、岩滝町、丹後町、弥栄町において新規実施し、既実施の16町村には、補充貸出を行った。

これら読書施設は、身近な図書館サービスの窓口として住民に親しまれている。

平成4年度末現在22町村に85,000冊の図書を貸出している。

<4 頁参照>

(連絡協力車の運行)

44市町村を、北部16市町2コースは月1回、他の28市町村4コースは月2回の巡回を行った。

新しく開設された読書施設への指導や、約31,000冊の図書及び約3,500件の文書等の搬送を行うとともに、約350件の運営相談に応じた。

「連絡協力車だより」を毎月発行し、市町村との連携を一層強めた。

<7 頁参照>

(障害者サービス)

視覚障害のある人々の図書館利用を図るために資料の対面朗読サービスを行っている。本年度は延べ65人の利用があった。

<7 頁参照>

(読書推進講座)

府民の読書への関心を高め、自主的な生涯学習に役立てるため実施しているもので、京都府の施設開放講座の一環として位置付けられている。

本年度(第11回読書推進講座)は昨年度に引続き「明治の京都と近代化」をテーマに6回の連続講座形式で実施し、35人の受講があった。

<12 頁参照>

資料及び利用の状況（平成4年度）

収集資料	図書 40,996冊	蔵書冊数	本館	337,906冊
	逐次刊行物 2,611タイトル		中京分館	28,242冊
			地方分館	峰山12,995冊 宮津11,890冊
			計	391,033冊
貸出状況	個人貸出	本館	41,076人（うち児童8,744人）	99,835冊（うち児童24,061冊）
		中京分館	19,211人	45,296冊
		峰山地方分館	4,714人（うち児童2,545人）	12,896冊（うち児童 9,113冊）
		宮津地方分館	1,633人（うち児童 935人）	6,795冊（うち児童 4,007冊）
		小計	66,634人（うち児童12,224人）	164,822冊（うち児童37,181冊）
	市町村貸出	図書館資料広域貸出	22町村	85,000冊（うち継続59,000冊）
		貸出文庫	19市町村	20,311冊
		協力貸出	43市町村 54館（室）	9,094冊
		特別貸出	1町	535冊
		小計		114,940冊
	その他の貸出	府内学校図書館等への協力貸出	10施設	455冊
		他府県図書館等への協力貸出	21施設	37冊
		地方分館からの団体貸出	延べ51件	2,414冊
小計			2,906冊	
	総貸出冊数		282,668冊	
調査相談（本館）	府内市町村図書館（室）から	1,271件	（計） 6,661件 （一日平均 24.3件）	
	その他の図書館等から	458件		
	個人等から	4,932件		
複写利用（本館）		5,028件	38,412枚 （1日平均 140枚）	
本館入館者数		102,476人	（1日平均 374人） （開館日数 274日）	
行事参加者数 （本館）	読書推進講座	6回連続講座	35人	
	児童室おはなし会	10回	66人	
	計		101人	

2. 利用状況

(1) 個人貸出

館名	区分	登録者数	貸出者数	貸出冊数
本館		7,824人 (うち児童 715)	41,076人 (うち児童 8,744)	99,835冊 (うち児童 24,061)
中京分館		1,240	19,211	45,296
峰山地方分館		648 (うち児童 365)	4,714 (うち児童 2,545)	12,896 (うち児童 9,113)
宮津地方分館		155 (うち児童 107)	1,633 (うち児童 935)	6,795 (うち児童 4,007)
計		9,867 (うち児童 1,187)	66,634 (うち児童 12,224)	164,822 (うち児童 37,181)

(2) 個人貸出登録

館名	区分	一般	学生・生徒	児童	合計
本館		2,828人	4,281人	715人	7,824人
中京分館		1,039	201	—	1,240
峰山地方分館		214	69	365	648
宮津地方分館		37	11	107	155
計		4,118	4,562	1,187	9,867

(3) 一日平均個人貸出

館名	区分	開館日数	一日平均貸出者数	一日平均貸出冊数
本館		274日	150人	364冊
中京分館		286	67	158
峰山地方分館		231	20	56
宮津地方分館		205	8	33

(4) 地方分館団体貸出

分館名	区分	貸出件数	貸出冊数
峰山地方分館		延 8件	929冊 (うち児童 620)
宮津地方分館		延 43	1,485 (うち児童 1,265)
計		51	2,414 (うち児童 1,885)

(5) 「図書館資料広域貸出事業」による大量貸出

(単位：冊)

	継 続 新 更 新 分	新 一 括 分	補 充 分		継 続 新 更 新 分	新 一 括 分	補 充 分
宇治田原町	4,000		500	野田川町	4,000		500
和束町	4,000		500	大宮町	4,000		500
瑞穂町	4,000		500	網野町	4,000		500
三和町	4,000		500	久美浜町	4,000		500
井手町	3,500		500	笠置町		3,000	
山城町	3,500		500	夜久野町		3,000	
京北町	3,500		500	加悦町		3,000	
美山町	3,500		500	岩滝町		3,000	
丹波町	3,500		500	丹後町		3,000	
日吉町	3,500		500	弥栄町		3,000	
南山城村	3,000		500				
伊根町	3,000		500	計		85,000冊	

元年度から新規事業として実施したもので、図書館未設置町村に一定要件が充たされれば図書を一括大量に貸出すとともに、向こう4年間は補充貸出も行い内容のもので、府民の生涯学習に役立てるため実施している。

(6) 「貸出文庫事業」による大量貸出

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
向日市	558冊	八木町	1,931
大山崎町	200	瑞穂町	800
宇治市	10	福知山市	630
井手町	2,950	舞鶴市	800
宇治田原町	98	宮津市	550
山城町	1,540	網野町	1,997
和束町	4,000	峰山町	500
南山城村	1,999	弥栄町	148
京北町	300	久美浜町	1,000
美山町	300	合計(5市13町1村)	20,311

(7) 図書館間相互貸借

最近の府内市町村立図書館・図書室等の整備充実と住民の資料要求の高まりにより、府立図書館のこれら市町村立図書館施設に対する資料援助が求められている。当館では、昭和58年6月から図書館相互貸借を本格化させたがその定着が顕著となっており、平成4年度は前年比124%となった。

① 他館への協力貸出

	館 数	冊 数
市町村図書館等への貸出	54	本館から 8,592
		中京分館から 502
府内学校図書館等へ貸出	10	本館から 452
		中京分館から 3
他府県図書館等へ貸出	21	本館から 36
		中京分館から 1
計	85	9,586
前 年 度	64	7,734

② 特 別 貸 出 峰山町立図書館へ 4件 535冊

③ 借 受 提 供

	件 数	冊 数	備 考
府内市町立図書館から	29	33	* 大阪府立中之島及び 夕陽丘図書館から 72冊
国立国会図書館から	42	58	
他府県立図書館等から*	131	163	
計	202	254	
前 年 度	146	191	

※ 市町村立図書館等への協力貸出の内訳

市 町 村 名	貸 出 冊 数	市 町 村 名	貸 出 冊 数
向 日 市	269	丹 波 町	133
長 岡 京 市	114	日 吉 町	262
大 山 崎 町	115	瑞 穂 町	130
宇 治 市	224	和 知 町	194
城 陽 市	859	綾 部 市	41
八 幡 市	344	福 知 山 市	39
久 御 山 町	55	舞 鶴 市	319
田 辺 町	218	三 和 町	189
井 手 町	690	夜 久 野 町	67
宇 治 田 原 町	466	大 江 町	40
山 城 町	327	宮 津 市	169
木 津 町	352	加 悦 町	30
加 茂 町	836	岩 滝 町	3
笠 置 町	175	伊 根 町	29
和 束 町	314	野 田 川 町	109
精 華 町	255	大 宮 町	27
南 山 城 村	125	網 野 町	370
京 北 町	184	丹 後 町	7
美 山 町	409	弥 栄 町	44
亀 岡 市	225	久 美 浜 町	175
園 部 町	20	京 都 市	60
八 木 町	81	計 43市町村	9,094冊
		前年度 39市町村	7,469冊

(8) 読書相談（レファレンス）

本館での読書相談は利用者の質問内容も幅広く、府内市町立図書館・読書施設からの相談も増えてきている。そのため類縁機関との相互協力がますます必要となっている。

平成4年度の相談件数は次のとおりである。

区分 事項	来館者相談		電 話	文 書	計	前 年 度
	資料調査	利用案内				
読書相談件数 (うち児童室)	980 (284)	1,937 (26)	3,684 (304)	60	6,661 (614)	5,937
1 日 平 均	10.6		13.4	0.2	24.3	21.9

(9) 複 写 利 用

利 用 人 員	複 写 枚 数	1 日 平 均 利 用 人 員	1 日 平 均 複 写 枚 数
5,028人	38,412枚	18人	140枚
前年度 4,818人	41,501枚	18人	153枚

(10) 他の図書館等の資料複写サービスの利用

	件 数	点 数	備 考
国会図書館から	18	29	
他府県立図書館等から	1	1	
計	19	30	
前 年 度	22	43	

(11) 障害者の利用

視覚障害のある人々の図書館利用を図るため、朗読者の協力による対面朗読を実施した。

利用者 延 65人

(12) 連絡協力車の運行

京都府内の各図書館等との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集等を

行うため、下記のとおり6コースに分け、44市町村の図書館(室)等に月1~2回、合計115回運行した。

(ア) コース

- Aコース：府立図書館 — 亀岡市立図書館 — 八木町立郷土資料館 — 園部町立園部図書館
— 日吉町ふるさと文庫 — 丹波町中央公民館 — 和知町ふれあいセンター図書
室 — 瑞穂町教育委員会 — 三和町図書館 — 府立図書館
- Bコース：府立図書館 — 八幡市立八幡市民図書館 — 田辺町立中央図書館 — 精華町立図
書館 — 木津町中央図書館 — 加茂町立図書館 — 和束町体験交流センター図書
室 — 笠置町中央公民館 — 南山城村図書室 — 山城町図書室 — 府立図書館
- Cコース：府立図書館 — 宇治市中央図書館 — 宇治田原町中央公民館 — 井手町図書室 —
城陽市立図書館 — 久御山町立図書館 — 大山崎町中央公民館 — 長岡京市立図
書館 — 向日市立図書館 — 府立図書館
- Dコース：府立図書館 — 府立総合資料館 — 京北町文化センター図書室 — 美山町中央公
民館 — 京都市中央図書館 — 府立中京分館 — 府立図書館
- Eコース：府立図書館 — 綾部市立図書館 — 福知山市立図書館 — 夜久野町教育委員会 —
大江町図書館 — 岩滝町教育委員会 — 伊根町教育委員会 — 宮津市立図書館 —
府立宮津地方分館 — 舞鶴市立図書館 — 府立図書館
- Fコース：府立図書館 — 加悦町教育委員会 — 野田川町中央公民館 — 大宮町中央公民館
— 峰山町立図書館 — 府立峰山地方分館 — 久美浜町図書館 — 網野町生涯学
習センター図書室 — 丹後町教育委員会 — 弥栄町教育委員会 — 府立図書館

(イ) 搬送の内訳

相互貸借図書 19,609冊 (市町村への搬入8,677冊 市町村からの搬出9,219冊
市町村相互1,713冊)

広域貸出事業図書 7,923冊

寄贈等図書 3,702冊

文書 3,537件

(ウ) 運営相談 約350件

(13) その他

- 館報「図書館きょうとNo.36」、「京都府の公共図書館1992(平成4)年版」「連絡協力車だよりNo.9~No.20」を刊行した。
- 小学校の社会科授業の一環としての図書館見学(6件164名)や大学図書館司書課程実習生(6人)の受入れを行うとともに府内図書館等からの要請に応え、講師派遣(3件)を行った。
- 近畿公共図書館協議会事業の整理部門研究集会を平成5年2月4日に主催した。

3. 図書館資料

平成4年度における図書館資料は次のとおりである。

(1) 図 書

○ 蔵 書 冊 数

館名	区分	平4.4.1 現在 蔵書数	受入冊数	内 訳			館内移動	払 出	平5.3.31 現在 蔵書数
				購 入	寄 贈	その他			
本館	閲覧課	181,283	8,864	5,606	2,890	368	+ 78	0	190,225
	振興課	120,681	29,249	29,231	18	0	-2,249	0	147,681
中京分館		24,477	1,594	1,071	516	7	+2,171	0	28,242
峰山地方分館		12,289	706	706	0	0	0	0	12,995
宮津地方分館		11,307	583	583	0	0	0	0	11,890
計		350,037	40,996	37,197	3,424	375	0	0	391,033

○ 障害者用資料（上記蔵書数に含む）

資料	区分	受 入 数	平5.3.31現在
テープ図書		22点 (59巻)	580点 (1,452巻)
大活字本		85冊	764冊
点字図書		5タイトル (13冊)	119タイトル (656冊)

分 類 別 冊 数

(平5.3.31現在)

分類	本 館				中京分館	百分比	峰山地方分館	百分比	宮津地方分館	百分比	合 計	百分比
	閲覧課	百分比	振興課	百分比								
	冊	%	冊	%	冊	%	冊	%	冊	%	冊	%
0 総 記	7,390	3.9	992	0.7	1,135	4.0	110	0.8	157	1.3	9,784	2.5
1 哲学・宗教	6,980	3.7	1,815	1.2	977	3.5	179	1.4	121	1.0	10,072	2.6
2 歴史・地誌	15,305	8.0	5,553	3.8	2,105	7.5	398	3.1	300	2.5	23,661	6.0
3 社会科学	27,637	14.5	5,698	3.9	3,426	12.1	838	6.4	613	5.2	38,212	9.8
4 自然科学	9,904	5.2	3,068	2.1	1,229	4.3	226	1.7	302	2.5	14,729	3.8
5 工 業	8,288	4.4	7,856	5.3	1,255	4.4	350	2.7	634	5.3	18,383	4.7
6 産 業	4,946	2.6	2,165	1.5	481	1.7	128	1.0	161	1.4	7,881	2.0
7 芸 術	11,653	6.1	5,039	3.4	1,658	5.9	429	3.3	365	3.1	19,144	4.9
8 語 学	2,591	1.4	832	0.6	335	1.2	61	0.5	38	0.3	3,857	1.0
9 文 学	33,568	17.6	37,200	25.2	15,641	55.4	3,498	26.9	2,704	22.7	92,611	23.7
小 計	128,262	67.4	70,218	47.5	28,242	100.0	6,217	47.8	5,395	45.4	238,334	61.0
児 童 書	31,110	16.4	77,463	52.5		—	6,778	52.2	6,495	54.6	121,846	31.2
文 庫 整 理	2,571	1.4									2,571	0.6
旧 分 類	8,440	4.4									8,440	2.1
そ の 他	19,842	10.4									19,842	5.1
合 計	190,225	100.0	147,681 [※]	100.0	28,242	100.0	12,995	100.0	11,890	100.0	391,033	100.0

※ 振興課図書のうちに関書館資料広域貸出事業図書85,000冊を含む。

(2) 逐次刊行物

○ 平成4年度購入タイトル数

種別 \ 館名	新聞 (官報)	雑誌	計
本館	11	133 (うち点字3)	144
中京分館	6	35	41
宮津地方分館	1	4	5
峰山地方分館	1	1	2

○ 寄贈タイトル数(本館)

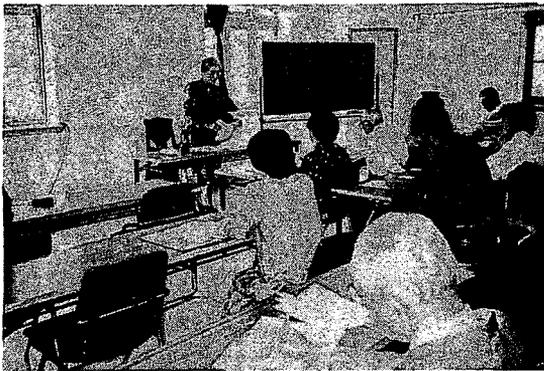
分類区分	タイトル数
図書館関係	61
学校紀要関係	400
一般雑誌・その他	2,026
計	2,487

4. 図書館の行事

(1) 本館

○府民の生涯学習に資する事業として読書推進講座を開催した。

月 日	行 事 名	会 場	内 容	参加者
10. 22～ 11. 26 (6回)	読書推進講座	府立図書館 他	明治の京都と近代化 2 — 新なる文化をもとめて — 講師：京都文化短期大学教授 辻 ミチ子 京都市歴史資料館長 山路 興造 日図デザイン博物館事務局長 井上 裕雄 京都芸術短期大学教授 尼崎 博正 国立民族学博物館教授 熊倉 功夫	人 35



受講風景



平安神宮庭園にて

(2) 本館児童室

地域の子どもたちが、図書館や本に親しむ機会を設けるため楽しい行事を開催した。

会場	月 日	行 事 名	内 容	参加者
本館児童室	5/21, 6/18, 7/16, 8/20, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17, 1/20, 2/18	おはなしの会	おはなし(他)	人 66

5. 沿革

- 明治31年(1898) 4月 府立京都図書館御苑内創立
館長 三宅五郎三郎就任
- 〃 6月 業務開始
- 33年(1900) 夜間開館開始
館長 原田千之助異動、中道貫一館長就任
- 36年(1903)10月 巡回図書館(貸出文庫)制度開始
- 37年(1904) 3月 湯浅吉郎館長就任
- 38年(1905) 4月 児童室開設
- 39年(1906) 6月 館外貸与規則制定告示
- 〃 11月 新館起工式
- 42年(1909) 2月 新館竣工
- 〃 3月 京都府立京都図書館規則告示
- 〃 4月 新館開館
- 大正5年(1916) 5月 湯浅吉郎館長退職
- 〃 10月 北島貞顕館長就任
- 8年(1919) 1月 本館図書分類目録編纂に着手
- 11年(1922) 4月 貸出文庫を増設
- 14年(1925) 3月 児童室閉鎖
- 昭和3年(1928) 3月 帯出規程告示
- 〃 4月 個人貸出実施
- 〃 6月 和漢図書分類目録 分類表12冊作製
- 9年(1934)10月 京都府中央図書館に指定
- 15年(1940)11月 北島貞顕館長退職 内藤乾吉館長就任
- 16年(1941) 5月 児童室復活開室
- 22年(1947) 7月 内藤乾吉館長退職 西村精一館長就任
- 〃 8月 館外貸出廃止
- 23年(1948) 4月 児童室を元貴賓室に移転
- 〃 9月 読書ルーム開設(河原町丸善京都店地下)
- 24年(1949) 4月 読書相談開始
- 〃 6月 河原町分館開館(河原町丸善京都店地下)
- 25年(1950) 2月 伏見分館開館(伏見信用金庫2階)

- 昭和25年(1950) 3月 巡回図書館(貸出文庫)廃止
- 〃 6月 宮津地方分館開館(宮津町役場内)
- 〃 7月 綾部地方分館(綾部市立図書館内)及び
峰山地方分館(丹後地方教育局内)開館
- 〃 8月 学生自由閲覧室新設
- 〃 11月 京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
- 26年(1951) 4月 上京分館開館(北区紫郊会館内)
- 〃 9月 本館大閲覧室屋根修理着工 休館
- 〃 10月 本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
- 〃 11月 本館大閲覧室安全開架式を実施
- 〃 12月 本館新体制で開館
- 27年(1952) 6月 本館読書相談係設置
- 〃 7月 園部地方分館(園部町立図書館内)
北桑田地方分館(京北町下中)及び
木津地方分館(旧役場内)開館
- 28年(1953) 4月 宮津地方分館市立図書館内に移転
本館 月曜日休館を実施
- 29年(1954) 2月 伏見分館新築工事着工
- 〃 7月 木津地方分館(木津小学校内)に移転
伏見分館庁舎竣工移転
- 〃 9月 京都府立図書館「善本目録」作製
- 30年(1955) 6月 峰山地方分館移転(丹波公民館内)
- 〃 9月 青年学級文庫実施
- 31年(1956) 5月 上京分館移転(桜谷文庫内)
- 〃 9月 河原町分館閉館
- 32年(1957) 6月 中京分館(河原町分館改称)開館(烏丸庁舎内)
- 〃 10月 宮津地方分館移転(労働セツルメント内)
- 35年(1960)10月 中京分館館外貸出実施
- 37年(1962) 9月 峰山地方分館移転(丹波小学校内)
- 38年(1963) 3月 本館読書相談係・学生自習閲覧室・貸出文庫閉鎖
蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
- 〃 5月 木津地方分館移転(町民センター内)
- 〃 7月 綾部地方分館移転(市民センター内)

- 昭和38年(1963)10月 西村精一館長転出(京都府立総合資料館長へ)
相馬利雄館長就任
- 〃 11月 本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
- 〃 12月 児童室 土・日曜休室
- 39年(1964)1月 本館外装改修工事
- 〃 5月 本館夜間・土曜午後再開(9時まで) 貸出室設置
児童室館外貸出実施 土曜日開室
宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)
伏見分館館外貸出実施
- 〃 7月 市内分館 日曜日休館を実施
- 40年(1965)1月 中京分館仮移転(京一商同窓会館)
- 〃 7月 児童室に母親文庫設置
- 〃 9月 府教育委員会基本規則一部改正
教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
- 〃 11月 中京分館移転(京都府中京庁舎内)
- 41年(1966)9月 綾部地方分館閉館
- 〃 11月 園部地方分館閉館
自動車文庫命名式(蛭川知事「あゆみ号」と命名)移動図書館事業開始
- 42年(1967)7月 本館修繕工事
- 〃 9月 貸出室移転再開
- 44年(1969)12月 本館夜間閉館時間(7時)に変更
- 45年(1970)8月 相馬利雄館長退職、荒尾利就館長事務取扱就任・転出
岩崎彰之助館長就任
- 46年(1971)8月 宮津地方分館 宮津市立図書館内に移転
本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウ
ン方式に切替
- 47年(1972)4月 岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
- 48年(1973)4月 上京分館館外貸出実施
- 〃 6月 吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任
- 49年(1974)4月 庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任
- 50年(1975)3月 木津地方分館閉館
身体障害者用 便所・スロープ新設
宮本英男館長退職

- 昭和50年(1975) 4月 布村忠雄館長就任
- 〃 5月 本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設)内装工事
本館閲覧室を完全開架式に切替
- 昭和51年(1976) 4月 本館閲覧用目録作成に着手
- 〃 5月 上京分館閉館(51.5.8)
- 〃 7月 児童室改修工事
- 53年(1978) 3月 本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備)
本館閲覧用目録整備完了
- 54年(1979) 3月 本館書庫の改修工事
- 〃 4月 国会図書館からの図書貸出制度発足
本館自習室を閉鎖
- 〃 7月 本館・伏見分館の冷暖房工事完了
- 〃 8月 北桑田地方分館仮移転(京北農業協同組合弓削支所内)
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
「専門情報機関要覧」刊行
- 55年(1980) 3月 北桑田地方分館閉館(55.3.31)
- 〃 4月 布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任
峰山地方分館峰山町中央公民館内に移転
- 56年(1981) 4月 長谷川啓司館長転出 浜辺一彦館長就任
- 〃 9月 移動図書館用電動集密書架設置
- 〃 12月 伏見分館改修工事
- 57年(1982) 4月 伏見分館宿日直を廃止し警備会社に委託
- 〃 7月 障害者サービス(対面朗読)実施
- 58年(1983) 2月 生涯教育推進事業として読書推進講座実施
- 〃 3月 「京都府の公共図書館」刊行
伏見分館 ブックポスト設置
- 〃 6月 図書館協力貸出本格実施
- 〃 7月 新着図書案内発行
- 59年(1984)12月 連絡協力車試験的運行開始(2コース)
- 60年(1985) 7月 国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
- 61年(1986) 8月 京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館
のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問

- 昭和61年(1986)12月 昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
12月4日～5日 会場 京都堀川会館
- 62年(1987)10月 国立国会図書館とオンライン実施
伏見分館サービス終了(62.10.31) 伏見分館廃止(63.3.31)
- 63年(1988)3月 「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
- 平成元年(1989)7月 浜辺一彦館長死去、上田将館長就任(本庁指導部長兼任)
- 〃 9月 上田将館長退任、林芳男館長就任
- 〃 10月 図書館資料広域貸出事業開始
- 〃 〃 「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
- 2年(1990)3月 京都華頂ライオネスクラブから公用車(ステーションワゴン)の寄贈
- 〃 〃 「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
- 〃 4月 連絡協力車事業本格実施
- 〃 12月 移動図書館事業終了
- 3年(1991)3月 本館模様替内装工事(受付カウンター、新聞雑誌室、休憩室、ロッカー室、点字コーナー配置換)
- 〃 4月 ロッカーを自主管理方式に
機構改革により本館は4課組織に
- 〃 6月 マイクロリーダプリンター、サービス開始
- 〃 8月 「連絡協力車だより」発刊
- 4年(1992)4月 林芳男館長退任、柴田實館長就任
- 〃 9月 毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
- 5年(1993)3月 「京都府の公共図書館 1992年版」刊行

6. 経 費

平成4年度における経費は、次のとおりである。

科目	事 項	金 額	比 率	備 考
図 書 館 費	人 件 費	295,898千円	77.2%	
	図 書 館 資 料 費	50,265	13.1	
	図 書	48,255	12.6	○広域貸出事業図書費 29,458千円
	定期刊行物	2,010	0.5	
	そ の 他 経 費	34,805	9.1	
	計	380,968	99.4	
総 社 務 会 局 費 教 育	生涯教育推進費	800	0.2	読書推進講座 300千円 その他 500千円
事 務 局 費	図 書 館 維 持 管 理 費	1,536	0.4	冷暖房設備補修工事 594千円 その他
合 計		383,304	100.0	

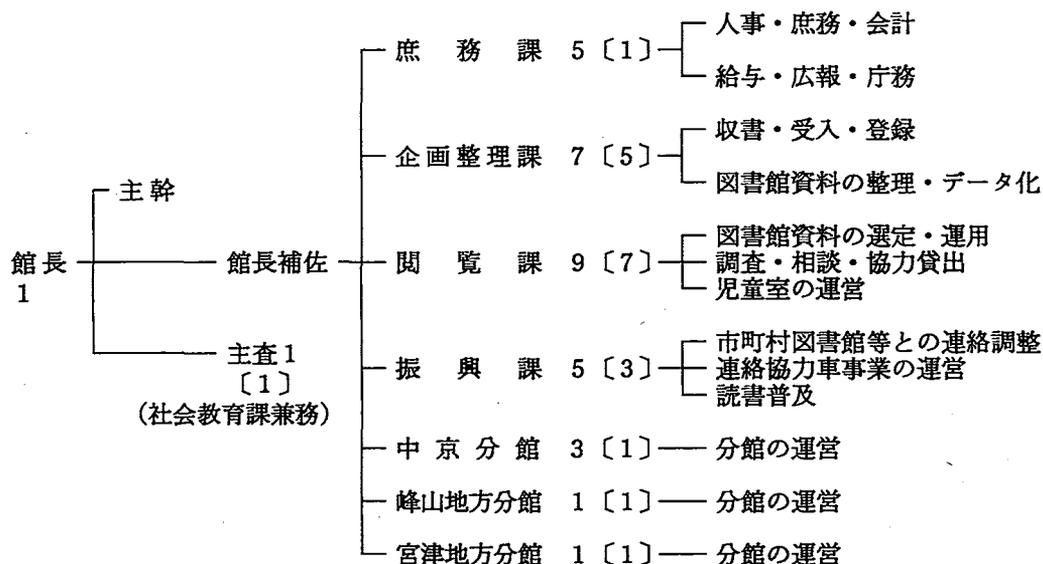
館 別 図 書 館 資 料 費 内 訳

区 分	図 書 費	定期刊行物費	計
本 館	16,007千円 (マイクロ 292千円を含む)	1,426千円	17,433千円
中 京 分 館	1,290	498	1,788
地 方 分 館 等	1,500	86	1,586
広 域 振 興 事 業	29,458	—	29,458
計	48,255	2,010	50,265

7. 組 織

館長以下事務職員31名、技術職員2名、計33名（司書有資格者20名）である。組織を図示すると次のとおりである。（注〔 〕内は司書数）

（平5.4.1現在）



8. 施設の概要 (平5.4.1現在)

館名	施設の概要	館名	施設の概要
本館 (明治31年) 4月開設	敷地 3,740.26㎡	峰山地方分館 (昭和25年) 7月開設	専有面積 57.00㎡
	建築面積 1,273.60㎡		構造 鉄筋コンクリート3階建 (峰山町公民館)
	延建物 2,655.70㎡		建築年 昭和55年
	構造 木造レンガ造3階建		庁舎の所有 峰山町
	建築年 明治42年		
	収容 閲覧室 68席 新聞雑誌室 20席 児童室 20席		
中京分館 (昭和24年) 6月開設	専有面積 158.00㎡	宮津地方分館 (昭和25年) 6月開設	専有面積 52.95㎡
	構造 鉄筋コンクリート造 (府中京庁舎2階)		構造 鉄筋コンクリート2階建 (宮津市立図書館内)
	建築年 昭和40年		建築年 昭和46年
	収容 閲覧 22席		庁舎の所有 宮津市

9. 利用案内

(1) 所在地一覧

館名	所在地	電話	郵便番号
本館	京都市左京区岡崎成勝寺町9	771-0069(代)	606
中京分館	京都市中京区富小路二条上ル	211-5728	604
峰山地方分館	中郡峰山町字杉谷1030	0772-62-5100	627
宮津地方分館	宮津市鶴賀2164	0772-22-2730	626

(2) 開館時間

館名		開館時間
本館	閲覧室 新聞雑誌室	月～土 9:30～19:00
	児童室	月～土 但し第2土曜日 13:00～17:00 9:30～17:00
市内分館	中京	月～土 12:00～18:00
地方分館	峰山・宮津	月～金 (但し4週1回 月曜休)
		土(隔週休)
		9:00～17:00
		9:00～12:00

(3) 休館日

- 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- 日曜日
- 1月2日から同月4日まで及び12月27日から同月31日まで
- 毎月の月末日
- 特別整理期間（特に館長の定める期間）

事業概要 (平成4年度のまとめ)

平成5年(1993)7月1日発行

発行者 京都府立図書館

〒606 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075)771-0069(代)

FAX (075)771-2743

印刷 株式会社 大気堂

TEL (075)361-2321

この冊子は再生紙を使用しています。